

平成17年9月期決算説明会資料

(平成16年10月1日～平成17年9月30日)

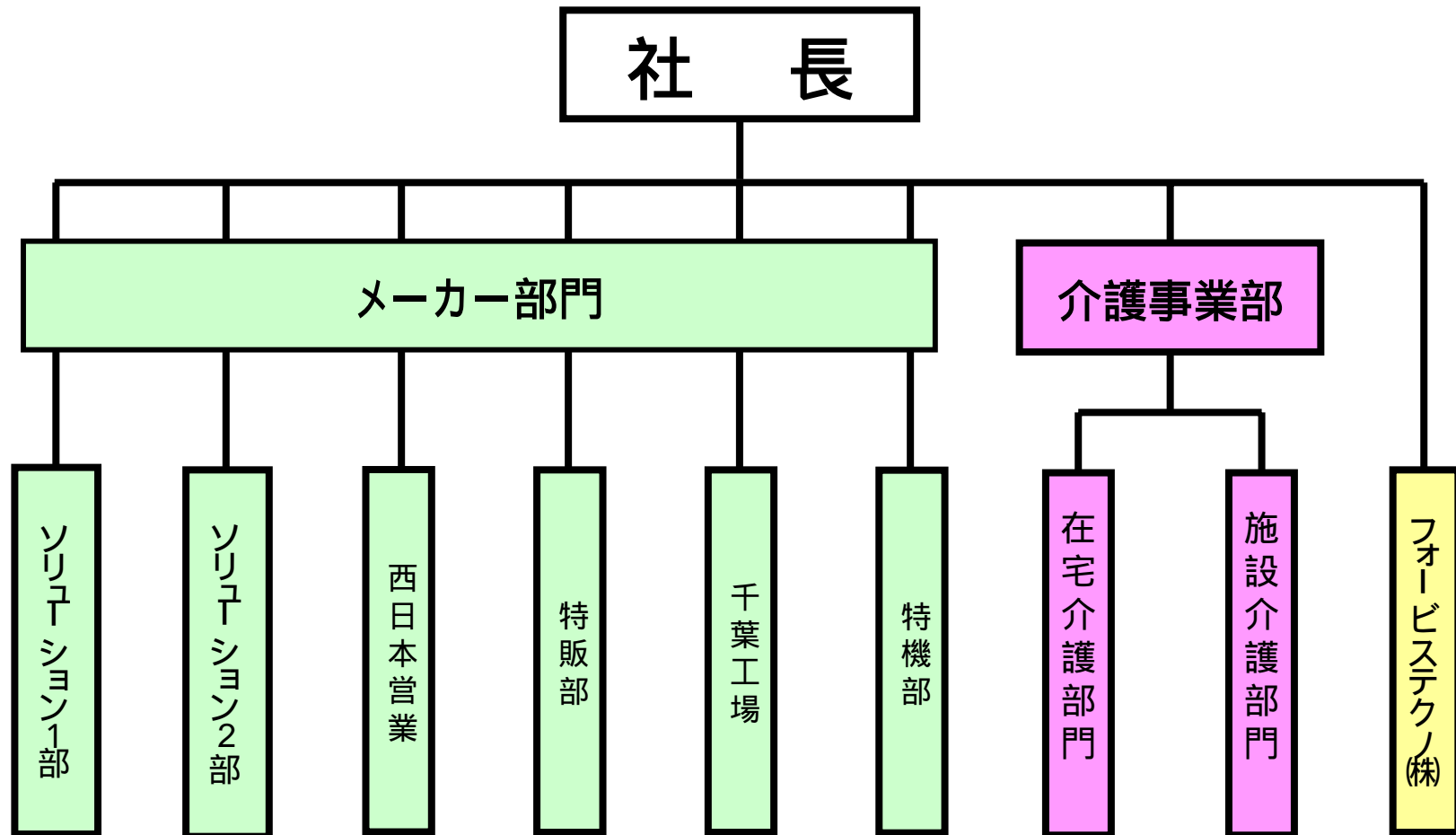
平成17年12月9日(金)

日本フォームサービス株式会社(第49期)

(証券コード: JASDAQ7869)



組織図【当期(平成16年10月～平成17年9月)第49期】



連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨)

	当期末		前期末		増減
	平成17年9月30日現在		平成16年9月30日現在		
	金額	構成比	金額	構成比	金額
【資産】					
流動資産	734	18	781	18	46
固定資産	3,294	82	3,571	82	277
計	4,028	100	4,353	100	324
【負債】					
流動負債	750	19	885	20	134
固定負債	592	15	835	19	243
計	1,343	33	1,721	40	377
【資本】	2,685	67	2,632	61	53
負債及び資本合計	4,028	100	4,353	100	324

連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨)

	当期		前期		増減 金額
	自 平成16年10月1日 至 平成17年9月30日		自 平成15年10月1日 至 平成16年9月30日		
	金額	百分比	金額	百分比	金額
売上高	2,664	100.0	2,396	100.0	268
売上原価	1,863	69.9	1,683	70.3	179
売上総利益	801	30.1	712	29.7	88
販売費及び一般管理費	762	28.6	773	32.2	10
営業利益又は損失()	38	1.5	60	2.5	99
営業外収益	22	0.8	14	0.6	7
営業外費用	22	0.8	25	1.1	2
経常利益又は損失()	38	1.5	71	3.0	110
特別利益	213	8.0	42	1.8	170
特別損失	165	6.2	1	0.1	163
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前 当期純損失()	87	3.3	30	1.3	117
法人税、住民税及び事業税	21	0.8	4	0.2	17
法人税等調整額	12	0.5	12	0.5	0
当期純利益又は当期純損失()	52	2.0	47	2.0	100

個別貸借対照表(日本フォームサービス株)

(単位:百万円未満切捨)

	当期末		前期末		増減
	平成17年9月30日現在		平成16年9月30日現在		金額
	金額	構成比	金額	構成比	
【資産】					
流動資産	715	17.6	773	17.6	57
固定資産	3,341	82.4	3,618	82.4	277
計	4,056	100.0	4,391	100.0	335
【負債】					
流動負債	758	18.7	883	20.1	124
固定負債	592	14.6	835	19.0	243
計	1,351	33.3	1,719	39.1	367
【資本】	2,705	66.7	2,672	60.9	32
負債及び資本合計	4,056	100.0	4,391	100.0	335

個別損益計算書(日本フォームサービス株)

(単位:百万円未満切捨)

	当期		前期		増減 金額
	自 平成16年10月1日 至 平成17年9月30日		自 平成15年10月1日 至 平成16年9月30日		
	金額	百分比	金額	百分比	金額
売上高	2,664	100.0	2,396	100.0	268
売上原価	1,915	71.9	1,677	70.0	237
売上総利益	749	28.1	718	30.0	30
販売費及び一般管理費	725	27.2	742	31.0	16
営業利益又は損失()	23	0.9	23	1.0	46
営業外収益	17	0.6	14	0.6	3
営業外費用	22	0.8	25	1.0	2
経常利益又は損失()	18	0.7	34	1.4	52
特別利益	213	8.0	42	1.8	170
特別損失	165	6.2	1	0.1	163
税引前当期純利益	66	2.5	6	0.3	60
法人税、住民税及び事業税	21	0.8	3	0.2	17
法人税等調整額	12	0.5	12	0.5	0
当期純利益又は当期純損失()	32	1.2	9	0.4	42

財政状況の概要(連結)

主な増減要因

(単位:百万円未満切捨)

【流動資産】

	当期	前期	増減
現金及び預金	81	61	19
受取手形及び売掛金	498	513	14
たな卸資産	125	174	49

【固定資産】

	当期	前期	増減
有形固定資産	3,116	3,358	242

注)有形固定資産の減少は、東京工場収用に伴う減少8千8百万円及び圧縮記帳による減少1億6千4百万円です。

【流動負債】

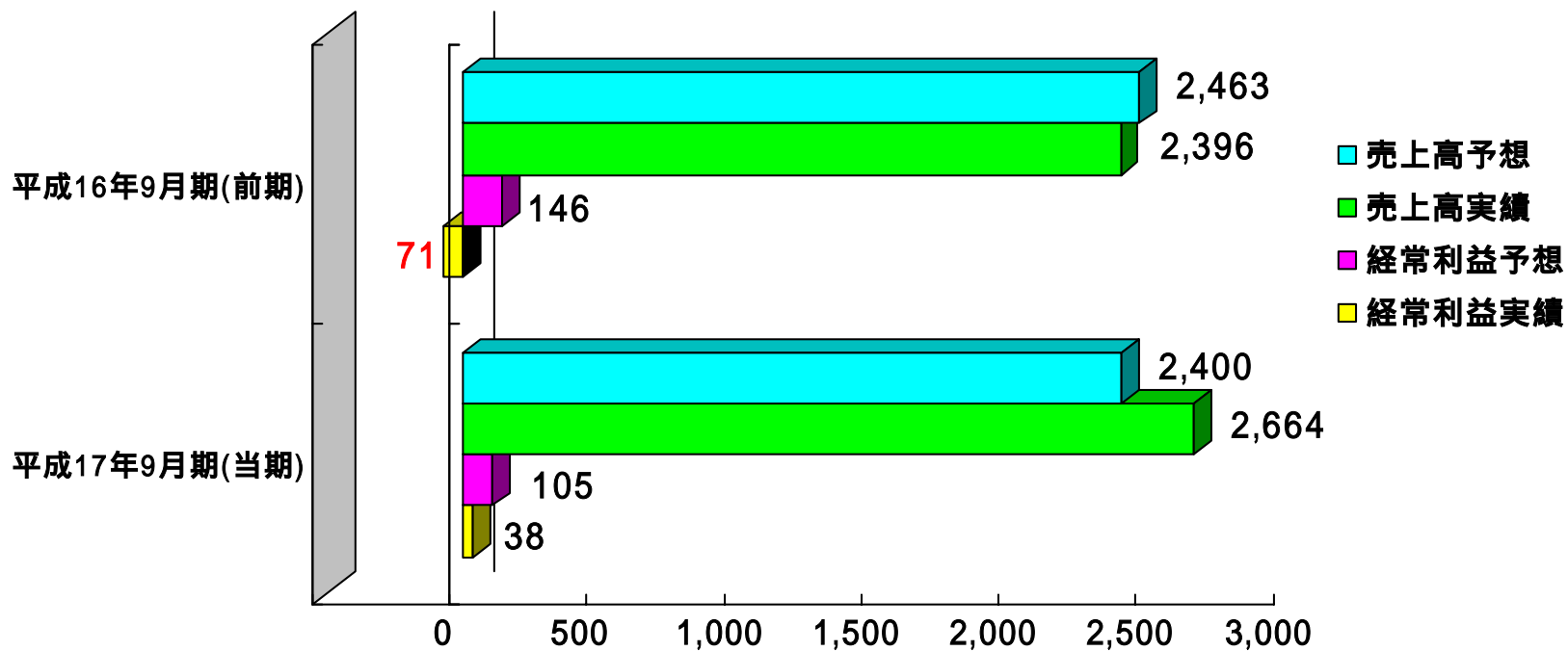
	当期	前期	増減
短期借入金	235	312	77
1年内返済長期借入金	147	206	59

【固定負債】

	当期	前期	増減
長期借入金	491	748	256

連結業績推移

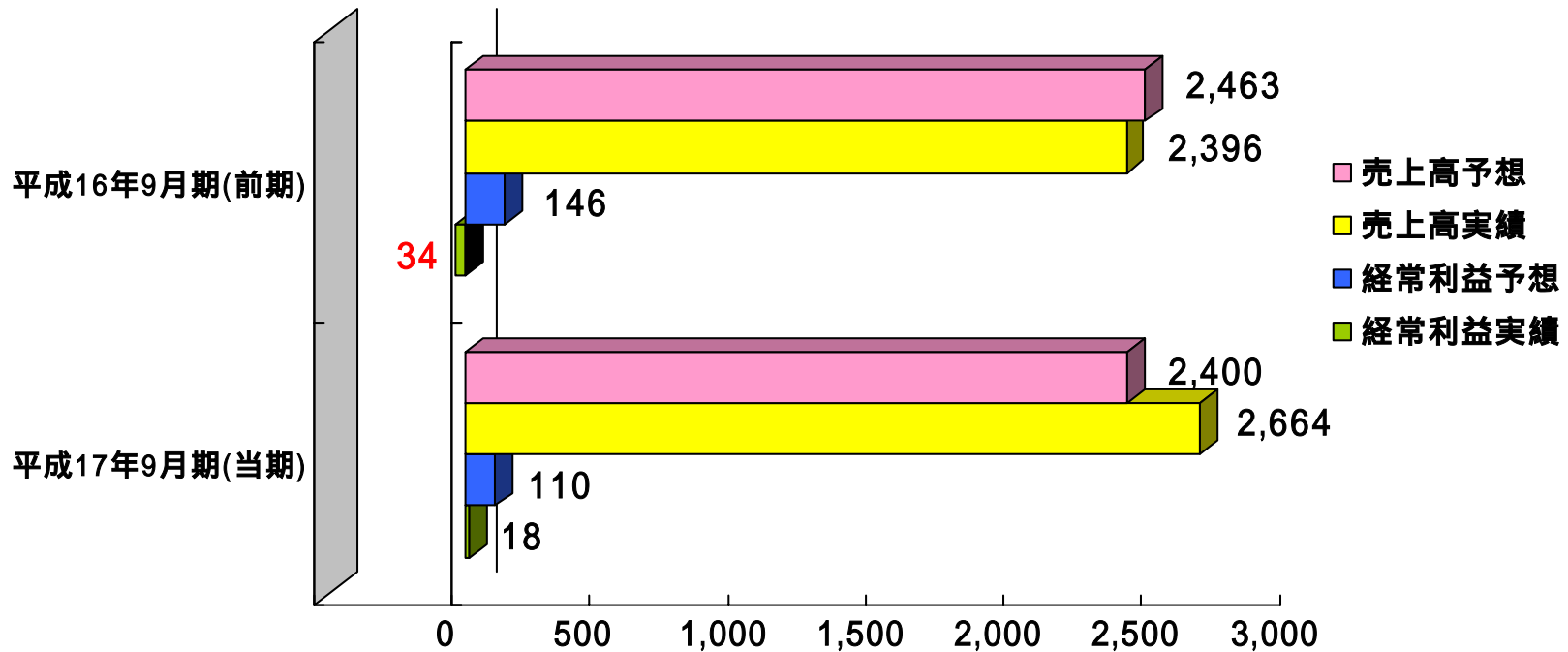
(単位=百万円)



個別業績推移

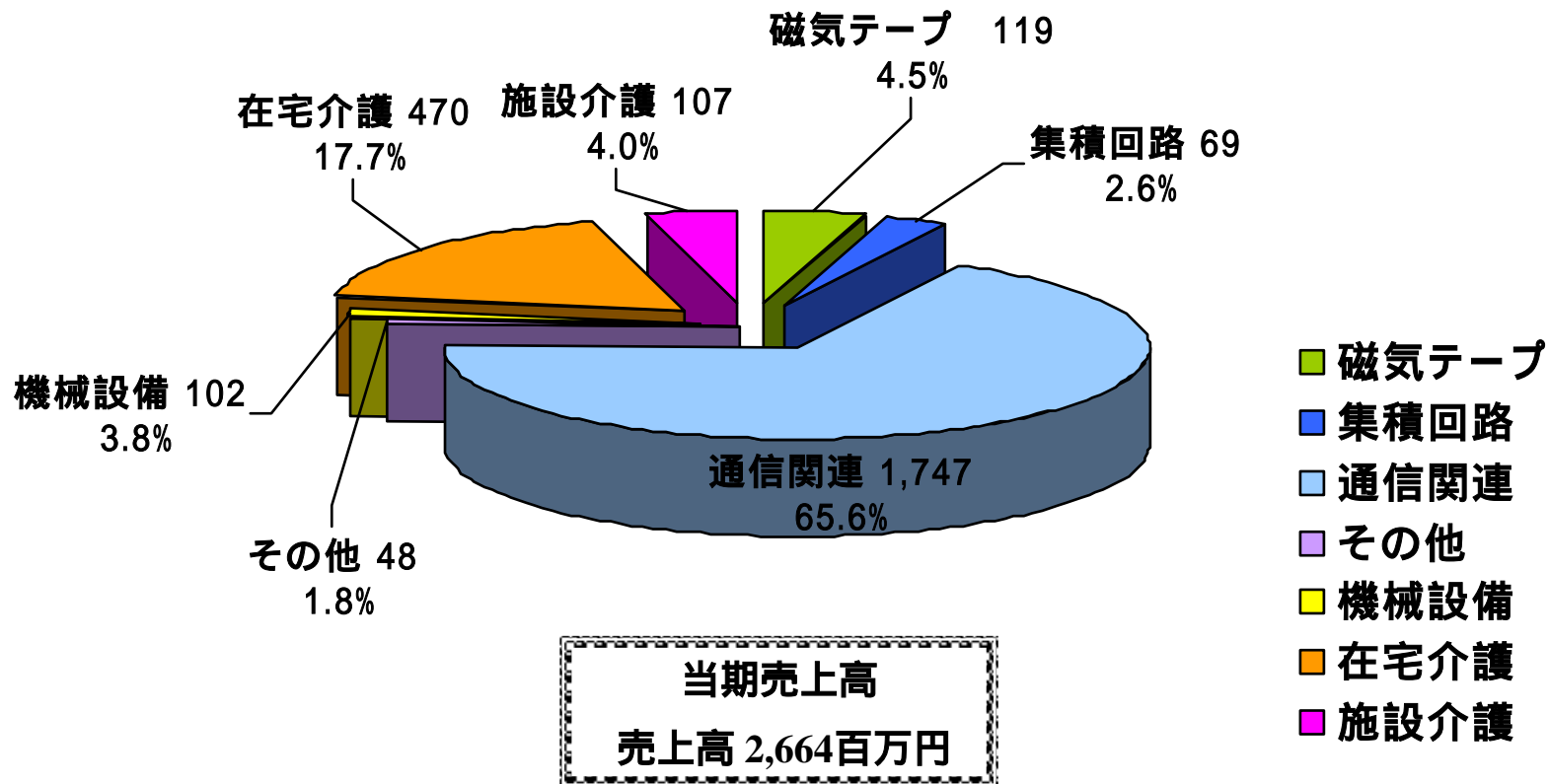
【日本フォームサービス㈱】

(単位=百万円)



当期セグメント別売上高(連結)

(単位:百万円)



【当期予想と実績(連結)】

【売上高】

	期初予想	実績	比較
全社計	2,400	2,664	264
函物及び機械設備関連事業	1,740	2,087	347
介護関連事業	660	577	83

【営業利益】

	期初予想	実績	比較
全社計	105	38	67
函物及び機械設備関連事業	105	88	17
介護関連事業	0	49	49

【 検 証 (経 常 利 益) 】

・ソリューション1部

フォービステクノ(株)を含め大幅な増益

価格競争商品(外国品)で一部は販売減

・ソリューション2部

大口の受注の獲得、特に東北営業所の大幅な利益貢献

・西日本営業

営業所の人員不足

管理体制の不徹底

購買機能が東京に集中している

【 検 証 （ 経 常 利 益 ） 】

・特販部

管理体制の不徹底

49期中間期末で閉鎖

・特機部

期末近くで予定していた検収が未検収となる

採算の合わない受注もあった

・千葉工場

材料費等の高騰

石油等の高値に依る経費増大

【 検 証 （ 経 常 利 益 ） 】

・介護事業部(在宅)

管理者の指導不足

無駄な経費が削除出来ていない

居宅介護支援が思うように増えない

ヘルパー研修講座の受講生の減少

・介護事業部(施設)

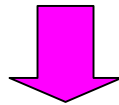
グループホームは予定通り

8月より始めたデイサービスが経常利益で約500万円足を引張った

【当期の反省と対策】

(平成16年10月～平成17年9月)

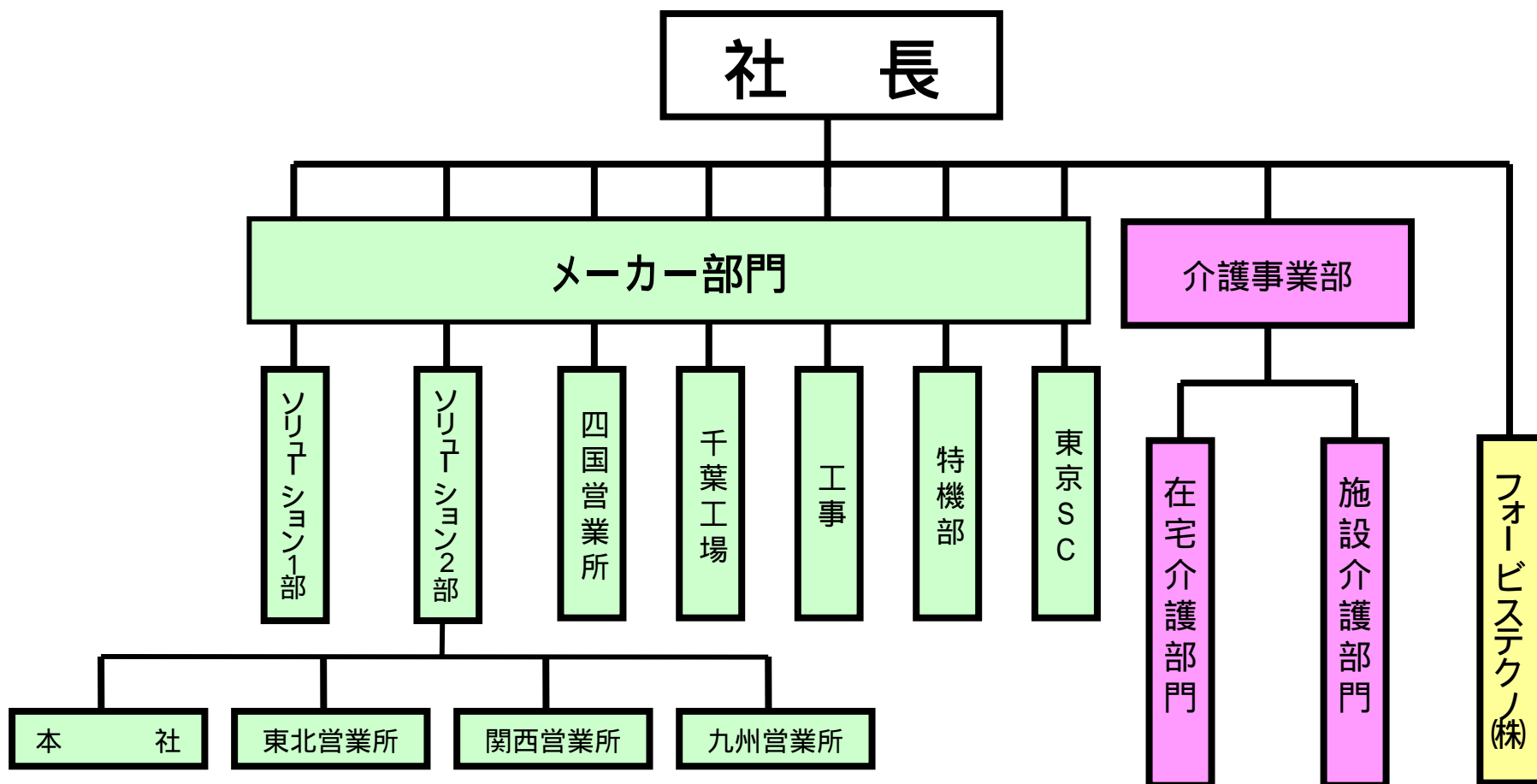
赤字脱却からなかなか抜け出せない部署の大幅改造



西日本営業の中枢を四国営業所からソリューション2部の管轄とし、各営業所員の入れ換えを行った

介護事業部(在宅)は事業部長を含め管理者を入れ換え、また間接部門の人員削減を行い人件費を約20%削減した。

組織図【次期(平成17年10月～平成18年9月)第50期】



次期の業績予想(連結)

(平成17年10月～平成18年9月)

(単位:百万円)

	日本フォームサービス(株)			フォービステクノ(株)	連結調整	全社
	函物及び機械設備 関連事業	介護関連事業	計			
売上高	2,118	632	2,750	204	204	2,750
営業利益	140	36	104	20	4	120

次期の目標

(平成17年10月～平成18年9月)

他に類を見ない製品開発



コアな製品だけの開発

経営陣の若返りの模索

積極的な設備投資(生産機械・システム投資)により、間接部門の
合理化の推進

次期ノルマ達成するには！ (函物及び機械設備関連事業)

大型・小型モニターアームでは価格競争に巻き込まれる事なく他社には無い製品を投入。未だ3～4年先まで液晶・プラズマ等の成長が見込まれる。他社より価格が高くても、現在弊社の製品を指名してくださるユーザーが多数おり、今まで以上の製品の差別化で日本一のアームメーカーを目指す。

RFID(ICカード)に替わる商品で弊社の得意分野の在庫、認証、色別等の出来るシステム組込み製品の開発(来春完成予定)

個人情報保護の為の製品売り込み及びバージョンアップ

景気の回復で設備関連の引き合いが相当数あり、特機部にはかなりの追い風

次期ノルマ達成するには！ (介護関連事業)

平成18年4月から施行の新予防給付。新たなビジネスチャンス！

都老研を中心とした介護予防の運動指導員の養成講座開校(平成18年3月)

デイサービスを中心とした介護予防教室を江東・江戸川等でどこよりも早く始める準備に着手

デイサービス等を持たない事業者は淘汰される

江東・江戸川の地域包括支援センターの受託

人件費比率を居宅は60%、施設は40%以内を再度追求

施設での小規模多機能型居宅介護に基づきデイサービス部分、グループホーム部分の空き状況の無い有効活用

[通い] [訪問] [泊まり]

次期ノルマ達成するには！ (フォービステクノ株)

製品の多様化に対応出来る体制作り
かなりの生産が見込まれる

現在100%の親会社への販売比率を段階的に引き下げ他社への外部販売を行う

フォービステクノ株独自の製品開発

将来の経営者の育成